

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民・地域の高齢者に対して介護保険の仕組み、利用に対する情報、理解に対して必要性があって、初めて意識する状況であることは必然的であり、必要でない制度を知っていただくのに無理がある。少なくとも必要可能時に対応出来る相談窓口が住民として近隣に存在することは必要条件だと思う。	住民にとっては介護保険の利用内容が必要に応じてどのようにして利用できるのか、市役所以外どこに相談すればよいのか解らないのが現実である。住民近隣の介護保険事業所の相談員は公平な立場で、住民の相談支援ができる体制を整える必要がある。	地域の介護保険事業所は、強調・協力して、住民が安心して暮らせる町づくりのため、行政、包括支援センターと協力して住民の相談窓口の設置に向けて連絡調整の取り組みを行うよう働きかける。	12ヶ月
2	4	運営推進会議は、グループホームの運営全般、サービス提供、日々の取り組み活動内容、利用者の状態など報告するとともに、会議の参加者からの質問や意見をいただき、更なるサービス提供に活かしているが、利用者家族の意向が一部の少数意見のみ反映されている。	地域の代表の方々に運営委員会の目的等理解されるよう取り組んでいるが、利用者家族又第三者の意見、意向を把握できる何らかの対策が必要とされている。	運営委員会の議事録を利用者家族に配布し、日常的取り組みに関して又運営全般について意見等聞くことのできる状況の取り組みをしていく。	4ヶ月
3	10	利用者、家族から希望や要望を必要に応じて各担当者から直接聞くように心がけているが、利用者に安心してサービスの提供を受けるには、家族の方々の更なる協力連携体制が必要であり協調した取り組みが要求されつつあります。	利用者家族の意見や意向が事業所として、聞き取りサービスの提供に反映されているが、利用者がより安心した生活を支えるには、家族との協力関係をさらに深める必要がある。	面会等よく見える家族、見えない家族、さまざま有るが、利用者の生活を支えるには家族のより一層の協力が必要であり、特に重度化に向けての対応等も予測して、家族との連携した取り組みが出来るよう、積極的に働きかけていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。